

キリストの中に見いだされ、キリストを知り、キリストを追い求める

聖書：ピリピ 3:9-14

I. パウロの願いは、キリストの中に見いだされることであって、自分自身の義を持つのではなく、「キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義」を持つことでした——ピリピ 3:9：

A. パウロの内側の深みには、彼の全存在がキリストに浸され、キリストで浸透されたいという切望がありました。それは、彼を観察したすべての人が、完全にキリストの中に彼を見いだすためでした。わたしたちもキリストの中に見いだされたいという切なる願いを持つべきです——9節前半。

B. パウロはキリストの中に見いだされることを願いました。すなわち、自分自身の義を持つのではなく、神の義を持って、キリストを自分の主観的な、生かし出された義とする状態の中で見いだされることを願いました——9節：

1. キリストが信者の義となることには二つの面があります：

a. 第一の面は、信者が神によって客観的に義とされるために、キリストが彼らの義となるということです——ローマ 3:24-26. 使徒 13:39. ガラテヤ 3:24 後半。

b. 第二の面は、キリストが信者から生かし出された彼らの義となって、神の現れとなるということです。神はキリストにあって、信者が主観的に義とされるために彼らに与えられた義です——ローマ 4:25. I ペテロ 2:24 前半. ヤコブ 2:24. マタイ 5:20. 啓 19:8。

2. ピリピ第3章9節における神の主観的な義は、実は神と人に対して正しいわたしたちの日常生活となる神ご自身です：

a. パウロは彼自身の義の中で生きることを願いませんでした。その義とは、人が自分の努力で律法を守ることによって持つ義です——6, 9節。

b. パウロは、神の義の中で生き、キリストを生きることによって神を表現する状態の中に見いだされることを願いました。もしわたしたちがキリストの中に見いだされようとするなら、このような状態の中にいなければなりません——1:20-21 前半。

C. 信仰は、わたしたちが神から来る義（キリスト）を受け入れて所有する基礎、条件です——3:9. I コリント 1:30。

II. パウロは、彼自身の義ではなく、神からの義を持つ状態の中に生きました。それは、キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り（経験し）、彼の死に同形化されて、格別な復活に到達するためでした——ピリピ 3:10-11：

A. キリストを知る知識の卓越性（8節）を持つことは啓示によりますが、キリストを知ること（10節）は経験によります。すなわち、彼を経験上、知るによります：

1. キリストを経験することは、キリストを経験上、知り、享受することです——2:17-18. 4:4, 10。

2. キリストを知ることは、彼を知る知識を持つだけではなく、彼のパーソンを獲得

することです——Ⅱコリント 2:10。

3. キリストを獲得することは、代価を払うことによって、彼の計り知れない豊富すべてを経験し、享受し、所有することです——ペリピ 3:8. エペソ 3:8。
 4. わたしたちは、キリストを経験し、享受し、彼と一になり、彼にわたしたちの内側で生きていただくことによって、彼を知る必要があります。わたしたちはこのようにして、啓示と経験によって彼を知るようになります——ペリピ 3:10. Iコリント 6:17. ガラテヤ 2:20。
- B. パウロは、キリストの復活の力と彼の苦難の交わりとを知ることを熱心に求めました——ペリピ 3:10 :
1. キリストの復活の力は、彼を死人の中から復活させた彼の復活の命です——エペソ 1:19-20 :
 - a. その霊は、キリストの復活とその力との実際です——ローマ 8:9-11. Iコリント 15:45 後半. Iヨハネ 5:6。
 - b. その霊はキリストの復活とその力と複合されており、わたしたちの霊に内住して、キリストの復活とその力をわたしたちの全存在の中へと分与しています——ペリピ 1:19. 出 30:23-25. ローマ 8:6 後半, 10-11。
 - c. もしわたしたちが自分自身をわきに置いて、十字架の死の下にとどまっているなら、キリストの復活の力を経験するようになり、そしてわたしたちが経験する復活の力は自然に、からだを建造するようになります——ペリピ 3:10. エペソ 4:12, 16。
 2. ペリピ第 3 章 10 節の「彼の苦難の交わり」という表現は、キリストの苦難にあずかることを指しています。これは、彼の復活の力を経験するための必要条件です——マタイ 20:22-23. コロサイ 1:24 :
 - a. わたしたちはまずキリストの復活の力を経験し、それからこの力によって、彼の苦難にあずかることができるようになります——ペリピ 3:10。
 - b. これらの苦難はおもに、キリストのからだ、すなわち召会のためです——コロサイ 1:24。
- C. ペリピ第 3 章 10 節はまた「彼の死に同形化され」ることについて語っています。これはパウロがキリストの死を自分の生活の鋳型とするのを願ったことを示しています :
1. キリストの死に同形化されることは、キリストを経験することの基礎です—— 1:20-21 前半. 3:9-10。
 2. キリストの死の鋳型は、キリストが絶えず彼の天然の命を死に渡して、神の命によって生きたことを指しています——ヨハネ 6:57 前半。
 3. わたしたちはキリストの死に同形化されることによって、彼の死において彼を経験して、命を解き放ち、分け与え、増殖させます。わたしたちはまた、御父の栄光を現します—— 12:24-26, 28. 13:31. IIコリント 4:12。
- D. キリストの死に同形化されることの結果は、わたしたちが死人の中からの格別な復活に到達することです。それは勝利者に対する賞となります——ペリピ 3:11 :
1. 格別な復活に到達すること、達することは、わたしたちの全存在が徐々に、また

絶えず復活させられることを意味します—— I テサロニケ 5:23。

2. 格別な復活は、旧創造から出て新創造の中へと入る復活です—— II コリント 5:17.
ガラテヤ 6:15。

III. わたしたちはパウロのように、キリストご自身を追い求め、「賞を得るために、目標に向かって追い求め」るべきです——ピリピ 3:12, 14 前半：

A. わたしたちはキリストを追い求めるために、自分がすでに到達したと思うべきではなく、後ろにあるものを忘れて、「前にあるものに向かって」体を伸ばすべきです—— 12-13 節。

B. わたしたちが追い求めている目標は、キリストを満ち満ちた程度にまで享受し獲得することです。その賞は、千年王国におけるキリストに対する極みまでの享受であり、それは新約のレースで勝利を得た走者に対する褒賞です—— 14 節. I コリント 9:24. ヘブル 10:35. 11:26. 12:1-2。